



あま〜

Vol. 128

“おめでタイガー”号

2022. 1. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)

2021 OPEN 11.1

澄み渡る青空が映り込む建物は
地域の医療・集い・防災の役割を担う
新たな施設として、令和3年秋
この「明和町」に誕生します

明和メディカル
センタービル
Meiwa MedicalCenter Bldg



メディカルセンタービルと川俣駅



保健センターと病院のエントランス



交通拠点を生かしたまちづくり

- 明和メディカルセンタービル開設
- 渋川市の都市計画に関する計画・構想を策定しました ~集約型都市の実現を目指して~

【連載】観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.27

子どもたちの力を観光へ

~地域のことに関心をもってほしい・もっと地域を自慢してほしい~

【トピックス】第73回都市計画全国大会(群馬大会)

【まちづくりイベント情報】県内で行われるまちづくりに関するイベントの紹介・お知らせ

●マーチの独り言





明和メディカルセンタービル開設

明和町 総務課(株式会社邑楽館林まちづくり)

■ 明和町の紹介

明和町は、群馬県の東南端、鶴舞う形の首のあたりに位置し、南に利根川、北に谷田川が流れる東西約11km、南北約3kmの東西に細長い形をした町です。面積は19.64km²で県内では2番目に小さく、標高は約17~21mと非常に平らな地形が広がっています。

■ 背景

本町では、平成23年より東武伊勢崎線川俣駅周辺の交通結節機能向上に取り組み、東西駅前広場や東西自由通路の整備等を進めてきました。一方、子育て支援に係るアンケートや移住・定住に関するアンケートで最もニーズが高い項目が「地域医療の充実」でした。このような行政課題の解決に向けて平成30年「明和町立地適正化計画」を策定し、駅周辺への医療施設や商業施設等の都市機能の誘導を推進し、中心拠点の機能強化と都市圏での連携・機能分担を進めていくこととしました。

現在は、令和元年度からの5ヶ年を第2期とした駅周辺整備を進めており、この整備事業に官民連携して取り組み、整備を加速化させることを目的に、町が発起人となり平成31年2月株式会社邑楽館林まちづくり(以下、「まちづくり会社」)を設立しました。このまちづくり会社が事業主体となって整備を進めてきたのが令和3年11月1日、駅東口に開業した明和メディカルセンタービルです。

■ 建物概要

明和メディカルセンタービルは、A館とB館の2棟からなる合計6,500m²程の鉄骨造の建物です。駅改札口から自由通路を経てA館はペDESTリアンデッキで繋がっており、A館とB館の間も町道上空を渡り廊下で繋いだ一体的な施設となっています。

A館は3階建てで1階には小児科クリニック、通所リハビリテーション、居宅介護支援事業所、2階には病院の病棟とカフェ、3階には明和町土地開発公社が入ります。B館は2階建てで1階には明和町保健センター、院外薬局、2階は病院の外来となります。A館3階にはフレキシブルに対応可能な会議室を備えており、平時は企業誘致等での利用の他、災害時には避難所として活用するため、町中央部における防災拠点としての役割も担っています。

なお、保健センター及びペDESTリアンデッキについては、町の事業として、都市構造再編集中支援事業(個別補助金)を活用し、それ以外の部分については、まちづくり会社の資金により整備しました。

明和メディカルセンタービル 施設概要図

(A館/3階) (B館/2階)

明和赤ちゃんこどもクリニック

小児科一科、小児科、乳幼児科、学童科、産科、母乳育児科

【診療時間】 月 火 水 木 金 土 日 一
午前 9:00-12:00
午後 15:00-18:00
★夜間(17:00-12:30)夜間診療(3歳以上)あり(12:00)急病対応あり(夜間診療費がかかります)★夜間(19:00-15:00)急病診療(夜間診療費がかかります)

【休診日】 木曜午後/土曜午後/日祝
【TEL】 0276-84-1166

医療法人 海宝会 明和セントラル病院

内科、外科、消化器科、泌尿器科、皮膚科、小児科

【診療時間】 月 火 水 木 金 土 日 一
午前 8:30-12:00
午後 15:00-18:00
★土曜日の午後は一部外来はあり(夜間診療)★夜間(19:00-15:00)急病診療(夜間診療費がかかります)★夜間(19:00-15:00)急病診療(夜間診療費がかかります)

【休診日】 日曜、祝日、年末年始
【TEL】 0276-84-1234

Cafe & Dining Rough

11月15日 OPEN

【営業時間】 11:00-22:00
【TEL】 0276-50-1300

だいいち薬局

【営業時間】 水-金 8:30-18:00
土曜 8:30-12:30
日曜・祝日
【TEL】 0276-55-0070
【FAX】 0276-55-6162

明和町保健センター

【診療時間】 8:30-17:00
【休診日】 土曜・日曜・祝日・年末年始
【TEL】 0276-60-5917
【FAX】 0276-50-5916

地域の医療・集い・防災を担う新たな施設



■ 公共交通の結節点として

東武伊勢崎線川俣駅に直結した強みを生かし、公共交通機関を利用しやすい環境を創出します。鉄道利用者の他、町内を走る2種類のオンデマンドバス「チョイソコ明和」「楽ラクシー」や広域公共路線バス「館林・明和・千代田線」を利用したのアクセスが可能であり、明和町保健センターや医療機関の受診を目的としていただくことで、交通弱者のかたの外出機会創出、地域コミュニティの活性化、健康増進の一助に繋がることを期待しています。また、鉄道を利用して東京・埼玉方面から通勤するかたも多いため、川俣駅を玄関口として使われる町内外の企業から人間ドック等健診の受け皿としての期待も寄せられています。

■ 官民連携した健康増進の取り組み

医療関係施設が入る複合施設である強みを生かし、今までにない地域医療システムの確立を目指します。町が実施する健康診断、予防接種案内、健康相談・教室と医療機関が実施する予防接種、人間ドック、健康診断、特定健診等の連携を高め、保健指導や早期の治療に繋げていきます。また、介護予防、健康教室、乳幼児健診等の分野でも同様に連携して取り組んでまいります。

■ おわりに

今後は、駅西口側の低未利用地を活用し、民間主導による宿泊・温浴施設の整備を計画しています。また、駅周辺は人口が集中する地域ですので、更なる避難所の確保も重要な課題となります。明和町では、まちの賑わいの創出を図り、安心して住み続けられるまちの実現のため継続して川俣駅周辺整備に取り組んでまいります。保健センターを始めとした明和メディカルセンタービルにご興味ありましたら是非一度明和町までお越しください。宜しくお願いいたします。



川俣駅からペDESTリアンデッキで直結しています



駅舎と接続するペDESTリアンデッキ



白と木を基調とした病院待合



A館2Fカフェは通勤通学帰りの方も立ち寄る憩いの場に



A館3F会議スペースは非常時の避難所として活用予定です





渋川市の都市計画に関する計画・構想を策定しました ～集約型都市の実現を目指して～

渋川市 建設交通部 都市政策課

渋川市は、人口減少社会に対応した集約型の都市構造への転換を目指し、都市計画に関する計画や構想の検討を進めてきました。この度、「渋川市立地適正化計画」をはじめとした各計画・構想を策定しました。

■ 渋川市立地適正化計画

本市の中心部である渋川市役所・渋川駅周辺を「中心拠点」、各地区の行政センター周辺と八木原駅周辺を「生活拠点」または「観光拠点」に位置付けました。

また、各拠点を結び、将来にわたり一定以上のサービス水準を確保する「基幹的な公共交通軸」と、周辺地域から各拠点へアクセスできる「地域内交通」を設定し、公共交通の効率的なネットワーク化を図ります。

さらに、渋川市役所・渋川駅周辺と八木原駅周辺に「居住誘導区域」、渋川市役所・渋川駅周辺の居住誘導区域内に「都市機能誘導区域」を設定し、まちのまとまりの形成を図ります。

■ 渋川都市計画地区計画（渋川駅西側地区、八木原駅周辺地区）

渋川駅西側地区に、本市の玄関口としてふさわしい健全な地区の形成を図るため、また、八木原駅周辺地区に人口密度を維持する良好な居住環境の形成を図るため、各地区にまちづくりのルールとなる地区計画を定めました。

なお、計画の実効性を確保するため、各地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例を併せて制定・施行しました。

■ 渋川駅周辺地域再生構想

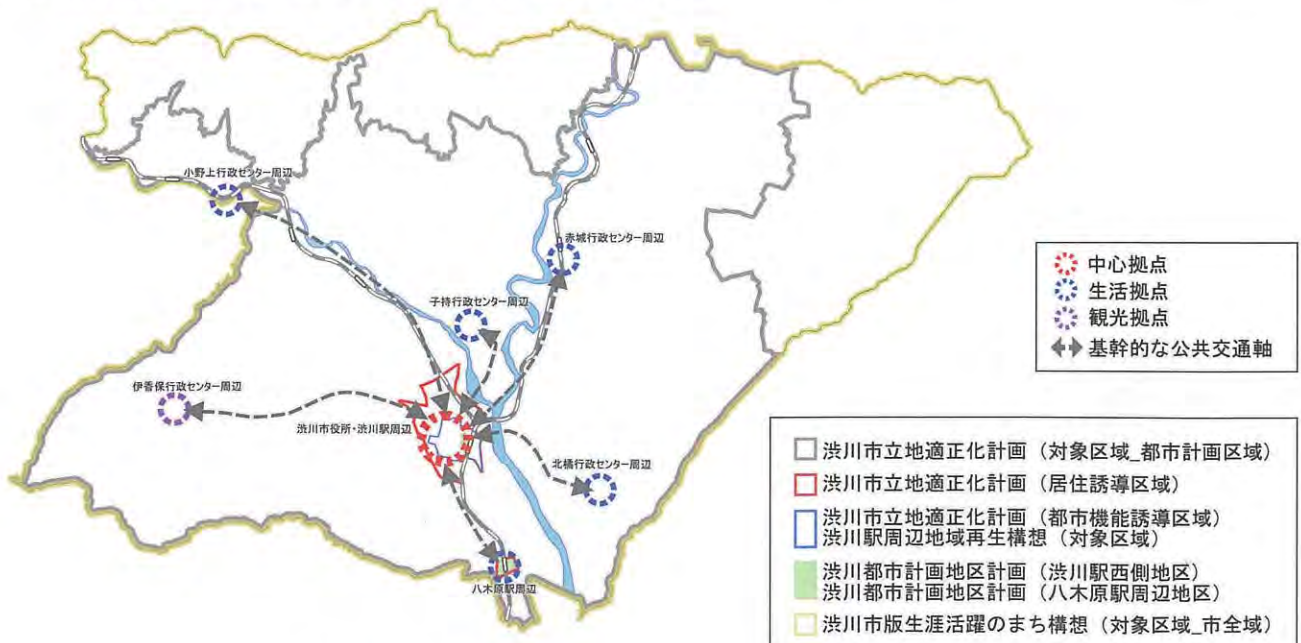
渋川駅周辺地域の再生を図るため、都市機能誘導区域を対象エリアとして、「まちのまとまりづくり」及び「まちなかのにぎわいづくり」の基本方針を定めました。

■ 渋川市版生涯活躍のまち構想

市民の個性や多様性が尊重され、生涯にわたり様々なステージで役割や生きがいを持って活躍できる「全世代・全員活躍のまち」を実現するため、市全域を対象として、「住まい」、「健康・福祉」、「活躍」、「しごと」、「交流・居場所」、「都市基盤の整備」を切り口とした生涯活躍のまちづくりの基本方針を定めました。

■ さいごに

今後、これらの計画・構想を基本として、行政だけでなく、市民、都市再生推進法人、事業者などが連携してまちづくりを進めていくことで、持続可能な集約型都市の実現を目指します。



本市の目指すまちづくりの都市像





子どもたちの力を観光へ

～地域のことに興味をもってほしい・もっと地域を自慢してほしい～

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

謹賀新年 今年こそ自由に観光が楽しめるようになることを願っています。今回は私達が取組んだ三宅島観光副読本についてレポートしたいと思います。

多様な主体や観光の新たな担い手づくりのために

2020年6月、「日本版持続可能な観光ガイドライン」が策定されました。その中では地域が一体となって持続可能な観光地域づくりを進めることが示されました。また、東京都の新しい観光プランでは、コロナ禍で低迷している観光事業の復活と持続的な観光の成長をめざすために「サステナブル・リカバリー」の理念を掲げ、多様な主体の連携や観光の担い手づくりに取組むことが検討されています。

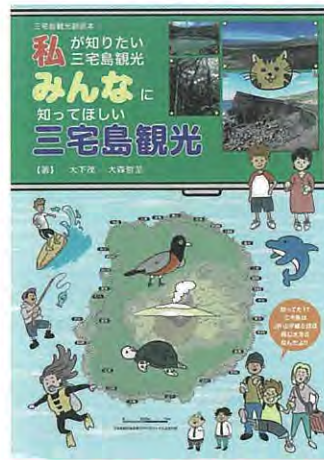
大下ゼミでは、早くから子どもを対象とした観光まちづくり事業に代々の先輩方が取組んできました。地域を誇りに思い自慢したいと思う人が多い地域は魅力ある地域であり、そんな地域こそが訪れてみたいと思うものです。子どもの頃から地域に関心を持ち、地域の観光のことをもっと知りたいと願う子ども達を育てることが、将来、地域観光の担い手になるものと思っています。そんな考えを形にするため、三宅島観光副読本の発刊に取組みました。

東京都内ではじめての取組み……三宅島観光副読本に関わって

2020年8月31日の夜、三宅島行の橘丸の船中に、私達はいました。「都内ではじめての取組み」「小学生の気持ちが解る君たちの力を…」という言葉に惹かれ副読本づくりに取組みました。今回の三宅島訪問は、村長やUターンした人々へのインタビューを兼ねた現地調査でした。

現地調査に先立ち、沖縄県や宮城県、天草地域等で先行して発刊されている観光副読本を参考に企画デザインを練りました。子ども達に興味をもってもらうためには、①文字は極力少なく大きな文字とする、②グラフや写真等による見せる本にする、③イラストでの会話調など興味をひくようにする、④遊びながら学べるようQ&A形式、クイズ形式などを組み込む、⑤インタビューをコラムとして編集するの5つのことを基本とする

とともに、遊びながら学べるツールとして「三宅島★しま巡りすごろく」を作成して付録としました。村長さん、教育長さんも企画に関心を寄せていただくことができ、2021年2月に無事に発刊することができました。



キャラクターをつくり、見て楽しめる副読本にしました。大下先生のキャラクターも登場します!!



付録がついてる副読本はこれまでありません。付録は遊んで学べるしま巡りすごろくです!! 村長さんにも好評でした。



5人の方々にインタビュー、子ども達へのメッセージもいただきました。写真は村長室での櫻田村長さんとのインタビューの風景。

北区での渋沢栄一翁の副読本が話題に

大河ドラマ、新1万円札の肖像となる渋沢栄一翁。北区では協議会が設立され、公民連携で渋沢プロジェクトが推進されています。2020年度に地元の小学生と渋沢人生すごろくで観光まちづくり事業に取組んだことは1年前にレポートしました(vol.122)。2021年9月、北区教育委員会では、渋沢栄一翁をテーマにした中学生用と小学生高学年用の副読本を発行し話題となっています。

地域が輩出した偉人をテーマにした副読本。これもまた地域に関心を持ち、地域自慢につながり、その先の観光まちづくりにもつながっていくものと思います。10年後、副読本を読んで地域に関心を持った子ども達が若者として地域を盛り上げてくれるようになる。目先のことだけでなく、将来を見据えた人づくりに取組むことーコロナ禍を体験した今だから大切なことではないでしょうか。(笹琴未・高橋采美)



地域の偉人・渋沢栄一翁をテーマにした副読本。地域に関心をもってもらうことにつながる取組みです(北区教育委員会)。

【参考資料】 観光庁「日本版持続可能な観光ガイドライン」
<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001350849.pdf>
東京都「PRIME 観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン(素案)」
<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/plan/tourism/kaigi/211105/>



第73回都市計画全国大会(群馬大会)

第73回都市計画全国大会運営事務局(群馬県 県土整備部 都市計画課)

令和3年10月28日(木)にGメッセ群馬をオペレーション会場として、オンラインにて「第73回都市計画全国大会(群馬大会)」(主催：公益財団法人都市計画協会、後援：国土交通省、協賛：群馬県・高崎市・群馬県都市計画協会)が開催されました。本大会の群馬県での開催は第36回大会(昭和59年)以来37年ぶりであり、初めてのオンライン開催となりました。

大会では、国土交通省による主報告や記念講演、部会等が行われました。また、開催県内の優れた都市計画事業を実施した市町村を表彰する都市計画協会会長賞も紹介されました。

■ 部会

以下の3つのテーマについて部会を開催し、事例報告や意見交換を行いました。各部会には、コメンテーターとして国土交通省都市局の方にもご参加いただき、専門的知見からご意見をいただきました。また、部会後の全体会議では各部長から部会内容の報告を行いました。

○第1部会『ウォークブル、ニューノーマルなまちづくり』

多くの都市では人口減少や少子高齢化により地域の活力が低下し、都市の魅力向上やまちなかにぎわい創出が課題となっています。そこで、前橋市市街地整備課の瀬藤副参事、岡崎市都市施設課の中川係長、福井市都市戦略部の牧野副理事の3名からの取組事例報告を通じて、「居心地がよく歩きたくなる」ウォークブルな空間の形成や新型コロナウイルスを契機としたオープンスペースの充実など、ニューノーマルなまちづくりについて意見交換を行いました。



前橋市 瀬藤副参事



甘楽町 土屋主事

○第2部会『歴史的風致の形成によるまちづくり』

地域を代表する歴史的な建造物やまちなみを活かしたまちづくりは、優れた景観の保全や地域活性化につながります。そこで、甘楽町建設課の土屋主事、内子町町並・地域振興課の西岡係長、熊本市都市デザイン課の木下主査の3名からの取組事例報告を通じて、地域の特色を活かした歴史的風致の形成によるまちづくりについて意見交換を行いました。



館林市 遠藤技師

○第3部会『防災・減災を主流化したコンパクトなまちづくり』

近年、頻発化・激化する自然災害への対応と持続可能で魅力あるまちづくりの両立が喫緊の課題となっています。そこで、館林市都市計画課の遠藤技師、倉敷市都市計画課の阿部課長補佐、久留米市都市計画課の松尾主査の3名からの取組事例報告を通じて、防災・減災を主流化した安全でコンパクトなまちづくりについて意見交換を行いました。



部会長報告



事例報告(オンライン配信)



■ 記念講演「ポストコロナの都市政策」

コロナ禍により人々のライフスタイルや価値観が大きく変化
する中で、ポストコロナを見据えた都市政策のあり方を考える
必要があることから、「ポストコロナの都市政策」と題して明治
大学政治経済学部野澤千絵教授にご講演いただきました。

講演では、コロナの影響でテレワークなどの働き方が普及し、
二地域居住などのニーズが顕在化してきている一方、大都市へ
の転入は止まることはなく、対面を通じたクリエイティブな議
論や多様な交流など大都市でしかできないことが明確になった
ことなどをご説明いただきました。また、そのような背景を踏
まえて、大都市の課題として、都心が住宅地化してしまうこと

や、地方の課題として、非線引き区域での宅地開発によるまちの低密拡散などが挙げられ、これからの「まちの
まとまり」を考えた土地利用コントロールの重要性について、先進事例を紹介しつつ、ご説明いただきました。

野澤教授、貴重なご講演ありがとうございました。



明治大学 野澤教授

■ 都市計画協会会長賞

都市計画協会会長賞は、都市計画全国大会を開催する県内の市町村を対象として、都市計画に関して優れた計
画立案を行った市町村、都市計画事業等の実施について優れた工夫又は顕著な実績を残した市町村を表彰するも
ののです。本大会では、前橋市、高崎市、甘楽町の3市町が受賞されました。

○前橋市

～官民が一体となった再開発による魅力あるまちづくり～

前橋市では、中心市街地への都市機能誘導を図るため、立地適正
化計画の策定による積極的な都市機能の誘導と事業の促進を図ること
としています。また、JR前橋駅北口において駅前の新たなランド
マークとなる複合施設を市街地再開発事業として進めるととも
に、民間と連携した公共空間の活用など様々な施策を展開していま
す。官民が一体となってまちづくりを進めるこれらの取組が、魅力
ある中心市街地の形成に寄与するものであると評価されました。



JR前橋駅北口地区市街地再開発事業(前橋市)

○高崎市

～広域交通拠点である高崎駅周辺を中心とした交流創造都市づくり～

高崎市では、広域交通の拠点性を活かし、高崎駅周辺において、
高崎芸術劇場や高崎アリーナなどの大規模集客施設の整備をはじめ、
回遊性を高める都市基盤の整備やまちなか居住の推進などの取組を
バランス良く進めてきました。その成果として、まちなかの歩行者
通行量が大幅に増え、中心市街地の人口が増加しており、交流創造
都市の実現につながっています。都市の価値を高める様々な取組が、
持続可能な都市の発展に寄与するものであると評価されました。



高崎芸術劇場(高崎市)

○甘楽町

～「歴史まちづくり法」に基づくまちづくり～

甘楽町では、歴史的風致維持向上計画に基づき、都市再生整備計
画事業等の推進や、歴史的建造物等を一体的に保存・活用する取組
を町全体で進めています。事業で整備された歴史的建造物等はイベ
ント等で積極的に活用し、町の歴史や風致に関する啓発・情報発信
を行っています。歴史的・文化的資産を守り、良好な景観の保全に
努めるとともに、その活用を図る取組が、活力と賑わいのある魅力
あるまちづくりに寄与するものであると評価されました。



楽山園(甘楽町)

まちづくりイベント情報

※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期場合があります。予めご了承ください。

ぐんま花の駅スタンプラリー

登録施設の5箇所回るごとに素敵な景品をプレゼント！
また、期間内に全てのエリアのスタンプを集めて応募すると抽選で豪華景品が当たります。

■令和3年10月1日(金)～令和4年3月31日(木)
■県内19箇所のぐんま花の駅

【お問い合わせ先】
ぐんま花の駅ネットワーク推進協議会
TEL 027-283-8189
(事務局：ぐんまフラワーパーク内)

※詳しくはホームページ(QRコード)又は各登録施設で配布中のスタンプラリーパンフレットをご覧ください。




道路空間の活用社会実験「ミチカツ」

館林駅東口駅前広場を活用し、キッチンカーの出店があります。

■令和3年11月24日(水)～
令和4年3月21日(月・祝)
10:00～18:00
※天候等により出店できない場合があります。

■館林駅東口駅前広場
【お問い合わせ先】
館林市役所都市計画課 TEL 0276-47-5150
館林商工会議所 TEL 0276-74-5121



だるま市

様々な「だるま」を売る露店や、食べ物・日用品を扱う露店が立ち並び、多くの人出で賑わいます。また、家内安全、厄除けなど諸祈願を行っています。

■令和4年1月16日(日)9:00～15:00
■普門寺

【お問い合わせ先】
桐生市役所観光交流課 TEL 0277-46-1111
普門寺 TEL 0277-43-5683



群馬県立敷島公園補助陸上競技場「ナイターデー」

個人利用(陸上)の時間外営業を実施します。学校帰りやお仕事帰りに練習したい方もナイター照明があるので安心してご利用頂けます。

■令和4年1月21日(金)、2月4日(金)、2月18日(金)
17:00～20:00(受付16:30～/最終受付19:00)

■群馬県立敷島公園 補助陸上競技場
【お問い合わせ先】
敷島公園管理事務所
TEL 027-234-9338
(電話受付：9時～17時)

QRコードは、敷島公園ホームページの「お知らせ」ページへ移動します。





おしらせ

景観講演会

地域の潜在資源である景観をはじめとし、それぞれの地域の特性を活かしたまちづくりの手法と官民連携や住民参加などとの関わりについて、前橋工科大学工学部総合デザイン工学科の杉浦崇准教授による講演を行います。

※参加には、事前の申し込みが必要です。
【日時】令和4年2月3日(木)13:30～15:30
【会場】ながめ余興場 (みどり市大間々町大間々 1635)
【申込・問い合わせ先】
群馬県都市計画課 TEL 027-226-3661



ぐんま“まちづくり”ビジョンシンポジウム

まちづくりの分野で、全国的にご活躍の東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻の村山顕人准教授による基調講演のほか、まちづくり功労者表彰や県内の事例発表を行います。

※参加には、事前の申し込みが必要です。
【日時】令和4年2月4日(金)13:30～16:00
【会場】群馬県公社総合ビル多目的ホール (前橋市大渡町1-10-7)
【申込・問い合わせ先】
群馬県都市計画課 TEL 027-226-3661

群馬県官民連携まちづくりシンポジウム

県内の公共空間を題材に、ゲストスピーカーの馬場正尊氏や民間・行政のプレーヤーと「こんな使い方ができるよね！」など妄想トークを繰り広げます。

※参加には、事前の申し込みが必要です。
【日時】令和4年2月24日(木)14:00～16:00
【会場】群馬県庁32階官民共創スペース [NETSUGEN]+オンライン
【申込・問い合わせ先】
群馬県都市計画課 TEL 027-226-3665



帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をあわせ持つ人材を育成します。

- 観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- 旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- 実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

入学試験情報	出願期間	選考試験日	合格発表日
※詳細は必ず「入学試験要項2022」をご確認ください。	一般選抜Ⅱ期 2022年2月14日(月)	【試験日自由選択制】 2月21日(月) 2月22日(火) 2月23日(水)	2月28日(月)

※一般選抜Ⅱ期2月21日(月)は、高崎試験場を含む地域試験場がございます。
※出願方法はインターネット出願です。

八王子キャンパス広報グループ TEL: 0120-508-739
〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 URL: https://www.teikyo-u.ac.jp/

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

地域の宝を掘り起こす！観光事業支援

- 観光事業 (PR) 支援
- イベント企画・運営支援
- 特産品を活用した商品で当地メニュー開発
- 観光市場調査

「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

東京都町田市中町1-22-7
Tel. 042-729-8618 Fax. 042-729-8619




マーチィの独り言

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年も「まちづくり」を考える情報誌「お!!まっちい〜」をよろしくお願いたします。

さて、2022年は寅年という事で、虎にまつわる雑学を調べてみたのですが、「漢書」によると「寅」は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態を表すと解釈されているそうです。また、群馬県で虎といえば、群馬サファリパークのホワイトタイガーや、箕輪城や高崎城主を務めた井伊直政の後見であった井伊直「虎」(大河ドラマにもなっていましたね)。

ちなみに、虎はネコ科で、2022年は「にゃーにゃー」の語呂合わせもありそう？ネコといえば、お!!まっちい〜79号(2013年9月)の「猫路地」(「マーチィの独り言」より)。まちあるきのお散歩中ついでに、ねこちゃん達のいる「まちなかの居心地の良いあったかい場所」を探してみるのも良いかもしれませんね(=^_^=)キャ♪

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3661 URL http://www.pref.gunma.jp/07/h5800127.html